



地域医療連携室だより Vol. 152

発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2022年1月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

新年のご挨拶



わかばやし なおき
市立大津市民病院 院長：若林 直樹

明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2019年の大晦日、中国武漢で発生した原因不明のウイルス性肺炎が世界保健機関に報告されて以降今日まで2年余にわたり、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック災害が続いております。われわれの日常行動は大きく制限され、生活様式も大きく変化してきました。病院においても、日々の診療への影響だけではなく、面会といったこれまで当たり前であったことを禁止せざるを得ないなど、患者さんや家族の皆さまにとっても非常にストレスな状況が続いています。面会に限らず直接会って言葉を交わすことや、言葉は交わせなくとも Face to face の肌感覚といったことの大切さを改めて感じる日々です。

長きにわたるコロナ禍ではありますが、ワクチン接種・抗体療法・経口薬など、終息へ向けての明かりが見えてきていることも事実です。本年の干支は壬寅（みずのえとら）です。壬（みずのえ）は、妊に通じ、厳しい冬に耐えて内に蓄えた陽気で次代の礎となる意味があり、寅（とら）は、蟻（ミミズ）に通じ、春の発芽の状態を表し、豊かな実りを助けるミミズが土の中で動き、芽吹き始めた状態を意味しているようです。誰もが、厳しい冬を耐え、春を待ちわびるなか、壬寅（みずのえとら）である本年が、希望に満ちた明るい年となるよう切に祈念致します。



どのような状況においても、われわれは、「信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点」という病院理念に則り、市民の命を守り、地域医療を守る病院としての使命を、これまで以上にしっかりと果たして参ります。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



病院理念

信頼の絆でつながる、
市民とともに歩む健康・医療拠点

基本方針

「市民の命を守る病院」

- ・市民に寄り添い、健康をサポートできる病院
- ・24時間365日、常に安心して受診できる病院
- ・広域感染症発生時や大規模災害時などに対応できる病院

「地域医療を守る病院」

- ・患者とともにあり、患者を治し支える病院
- ・質の高い医療を提供し、地域のニーズに応える病院
- ・予防から緩和までがんに強い病院

令和2年8月1日

地方独立行政法人
市立大津市民病院



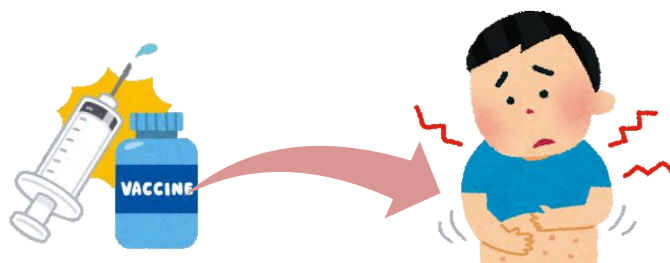
皮膚科のご紹介

皮膚科 診療部長：貫野 賢



地域の先生方におかれましては、平素より大変お世話になりありがとうございます。

皮膚科は、貫野、中川、外園の3名のスタッフ（うち、皮膚科学会専門医1名）で診療を行っております。当院の2020年度の皮膚科入院患者の内訳としては、感染症が全患者の43%と最も多く、続いて褥瘡などの難治性潰瘍が18%、皮膚腫瘍が17%となっております。感染症としては、蜂窩織炎が最も多く、続いて带状疱疹、壊死性筋膜炎の順でした。蜂窩織炎に関しては、入院された方のほとんどは10日程度で退院されております。患者さんの中にはご高齢の方も多く、寝たきりにならないように無理のない範囲で早期から廃用予防のリハビリを開始するよう心がけております。带状疱疹に関しては、重症型である汎発型、眼の合併症の可能性がある三叉神経第1枝型などは基本的に入院加療としておりますが、中等症の带状疱疹でも、基礎疾患や独居などそれぞれの患者状況に応じて入院加療としております。また生涯に3人に1人は带状疱疹になり、一度带状疱疹になった方も数%は、再び带状疱疹になることが知られております。このため、当院では2021年から带状疱疹ワクチンを検診センターに導入していただき、積極的に接種を勧めております。褥瘡も当科では比較的入院が多い疾患です。その多くはポケットを形成していたり、感染を起こし壊死していたりなど外科的処置が必要なことが多いです。入院後はなるべく早期にポケット切開や外科的デブリドマンを施行し、陰圧閉鎖療法を施行するようにしております。また栄養状態が悪い方が多いため、NSTにも積極的に介入していただき、栄養状態の改善にも努めております。そして急性期治療が終わったあとも、地域医療連携室や訪問看護ステーションと連携しつつ、訪問看護導入や往診医の依頼など退院後のプランニングをしております。皮膚腫瘍は地域の先生方にご紹介していただくケースが多いのですが、なるべく紹介即日に病理検査を施行し、一刻も早く患者さんの精神的負担を取り除けるよう、ご紹介いただいた先生方にも早く結果をお伝えできるように心がけております。最後に救急診療については、病院のモットーである「24時間・365日間体制」で皮膚科も臨んでおり、毎日オンコール1名体制を敷いております。



現在は感染対策を十分にとることで、コロナ以前のような通常の診療体制で臨むことができるようになりました。地域の先生方、患者さんから信頼できる病院となるよう精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



そとぞの あやか
外園 綾華

かのん さとし
貫野 賢

なかがわ ひろき
中川 弘己



こんにちは“TEAM WOC”です！

皮膚・排泄ケア認定看護師：井上 佳那



2022年、新しい年を迎え、お慶び申し上げます。

平素は大変お世話になっております。皮膚・排泄ケア認定看護師の井上佳那です。私は2021年度に皮膚・排泄ケア認定看護師（以下WOCN）として認定を受けました。当院にはWOCNがすでに3名在籍しており、私で4名体制となりました。WOCNが専門とする領域は、創傷・オストミー・失禁と多岐にわたります。それぞれに共通することは健やかな皮膚を守ることです。私はWOCNとして、患者様・ご家族様が健やかな皮膚を保ち、その人らしく生きていくことを支える一人として活動していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

健やかな皮膚には予防対策を！！スキンテア（皮膚裂傷）について

これまで「褥瘡」の治療やケアについては、実際に携わったという経験がある方が多いと思います。褥瘡は骨突出部に一致し、持続的な圧迫と皮膚に対する摩擦やずれにより発生しています。

褥瘡に類似した皮膚トラブルとして、スキンテア（皮膚裂傷）があります。気づかぬうちに皮膚が裂けている、またすぐに傷になって困っている、そんな経験はありませんか？スキンテアとは「摩擦・ずれによって生じる真皮深層までの皮膚損傷」です。スキンテアは皮膚の脆弱性に加えて、外力の影響を受け発生します。特に高齢者の皮膚は加齢による老化現象や光老化の影響、また基礎疾患の合併、その治療の影響により、ドライスキンや皮膚弾力性の低下、易出血による紫斑など皮膚にさまざまな影響を及ぼします。そのような皮膚の脆弱性に、外力（テープの剥離刺激や転倒によるもの）をきっかけとして容易に皮膚が破綻し、スキンテア（皮膚裂傷）が発生しています。褥瘡とスキンテアは発生機序やその定義に違いはあるものの、共通することは「予防」が可能であるという点です。

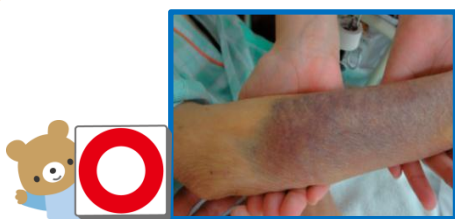
スキンテアの予防対策は皮膚の状態を整え、摩擦やずれの発生を予防することです。まずは乾燥を改善するために保湿が大切です。低刺激性で伸びのよいローションタイプの保湿剤を1日2回塗布します。その際には皮膚を擦らず、皮膚に乗せるように塗布することがポイントです。また四肢に発生しやすいとされていますので、四肢そのものを衣類で保護する、またはベッド柵や車椅子のフットレストをカバーするなどの環境調整も大切になります。また介護者や医療者も患者様を介助する際にも注意が必要です。引っ張らない・掴まないということはケアをする上での鉄則です。



転倒したときに足に発生したスキンテア



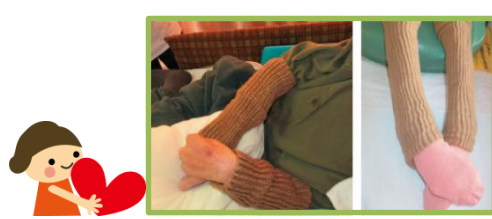
ベッド柵にぶつけたときに腕に発生したスキンテア



そっと下から支える



握るのは禁



発生しやすい四肢は衣類で保護

これらの予防対策を講じることで、皮膚トラブルを防ぎ、辛い思いをする患者様・ご家族様を少しでも減らすことができると考えています。

また何か不明な点等ございましたら、いつでもお気軽に当院 WOCN までお問合せください。

☆TEAM WOC☆



おおつぼ ゆきこ いのうえ かな やまざき ちえこ おおつ ようこ
大坪 有紀子 井上 佳那 山崎 千恵子 大津 陽子

第364回おうみICLSコースin市立大津市民病院開催報告

2021年12月11日(土)、当院で「第364回おうみICLSコースin市立大津市民病院」を開催いたしました。

「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の意味で、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義は行わず、実技実習を中心としたコースです。約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。Immediateは「すぐに、間髪をおかない」といった意味で、心停止直後の処置にはあらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。

今回は当院の1年目研修医6名を中心として複数の医療従事者が参加いたしました。参加者はいざというときに自信をもって蘇生が行えるよう、真剣に受講していました。



2年目研修医note

- ①名前：砥堀 恭平（とほり きょうへい）
- ②出身大学・卒業年度：岐阜大学 平成31年度卒
- ③趣味・特技・好きな時間の過ごし方など：趣味はスポーツ全般
- ④医師を目指した理由：社会に貢献できる仕事だから
- ⑤どんな医師になりたいですか？：謙虚な姿勢で患者様と向き合える医師
- ⑥研修医2年目の目標：

3年目消化器内科へ進む上で必要な知識とスキルを身につけたい

- ⑦地域の先生方へのメッセージ：

まだまだ未熟でご迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが、地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



MSW
アイコさん
作・画 まきろん

